

令和 3 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷会館	所管課	男女共生・生涯学習推進課
所在地	岐阜市柳津町蓮池一丁目78番地		
指定管理者名	本郷会館管理運営委員会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	943, 148円		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、学習、保育、休養、及び集会の用に供し、健康で文化的な近隣社会の構築とその発展に寄与するため。		
施設概要	・建築年月：平成4年3月 ・敷地面積：817. 00㎡ 延床面積：335. 73㎡ ・休養室、保育室、学習室、集会室		

●利用状況

		R03 上半期	R02 下半期	R02 上半期	R01 下半期	R01 上半期	H30 下半期
利用者数(単位：人)		141	114	99	621	467	812
各室稼働状況(%)	休養室	0.0	6.0	7.3	2.6	3.8	8.6
	保育室	0.0	5.3	2.7	14.4	12.0	27.0
	学習室	0.0	0.7	0.9	4.6	1.3	3.3
	集会室	12.4	1.3	0.0	1.3	3.8	14.5

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②苦情への対応	供用日・利用時間を遵守している。苦情は特になかった。
施設管理	①清掃、点検を常に行う。	週1回又は使用後に点検をしている。清掃は利用者が行う。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	実施なし。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	利用申請書と鍵は、委員長宅に適切に保管している。 関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	会館にアンケート回収箱を設置している。 9月をアンケート強化月間としているが、9月がコロナのため休館となり、実施できなかった。
利用者アンケートの実施結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、回収なし。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	－

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管 課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市柳津地区学習等供用施設の運営上の基本 方針	・利用者が利用しやすいサービスの向上と市民 の平等な使用を確保する事を基本方針とした 運営をしているか ・特定の団体及び個人に有利又は不利となる 運営をしていないか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものであ ること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っ ていく上で方針と主な事業計画	・地域の連帯意識を高め、学習、保育、休養及 び集会の用に供し、健康で文化的な近隣社会 の構築とその発展に寄与しているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策 など	・お客様アンケートを実施して利用者ニーズを 把握し、その声をもとに、より良い施設へと改善 しているか ・利用促進、利用者増の方策を考えているか	B	B	B
		区分評価				B
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	施設管理を行っていく上での方針と具体策	・会館の清掃・点検を常に行うなどして、利用者 に使用しやすいように会館の環境を整えている か	A	A	A
		指定管理経費の妥当性と経費縮減の方策	・エアコンの設定を、夏は28℃・冬は18℃として いるか ・エアコンのフィルターの掃除を年2回以上行っ ているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造	・鍵の管理は、委員長が行っているか ・使用申請を受け、委員長は使用許可の交付 を行っているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方策	・使用者に対し使用の際の遵守事項を徹底さ せているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止 策、非常時の対応マニュアルなど)	・異常や事故等緊急事態を見つけたら速やか に市に報告しているか ・防火管理者として担当業務を遂行しているか	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書 の内容が、 岐阜市ある いは施設が ある特定の 地域(以下 「地元」とい う。)の振 興、活性化 などに貢献 できるもの であること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、 ニーズを把握し、地域と一体となって事業推進がで きる組織的な基礎があるか	・運営組織が、地域の各種団体より選出された 者で組織されているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・運営組織が、地域に居住する者で組織されて いるか	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	事業計画に従い良好に運営できている。 施設整備等利用者の活動環境の改善に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策に取り組み、適正な施設運営に努めた。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	施設管理について、利用者が使用しやすい環境整備に努めた。
今後の取組み	今後も、新型コロナウイルス感染症の感染状況により利用者の増減は予想されるが、引き続き、徹底した感染防止対策に取り組むとともに、適切な施設管理に努める。 アンケートについて、利用者に対して、カギを渡すタイミングでアンケートも渡すようにするなどし、加えて、声掛けの実施など、積極的に実施するように努める。

●所管課の意見

当施設は、地域活動の拠点として、地域の各種団体代表者により構成された組織で運営されており、利用者目線に立った管理運営が行われている。また、定期的に施設の清掃、設備の点検を行っている。 令和3年度上半期のアンケートは、コロナの影響もあり、回収数が0だったため、今後は積極的に利用者アンケートを実施することを期待したい。 今期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったが、累計利用者数については、前年度下半期から微増となった。また、施設における3密対策や、徹底した清掃・消毒による衛生対策、利用者向けチェックシートの導入など、適切な感染防止対策に取り組んだ。 以上のことから、おおむね適正な施設運営が行われていると評価できる。
--

●指定管理者評価委員会の意見

・施設の今後について、住民はどう思っているのか、会館が本当に必要でニーズがあるのかどうか現状を見ていくことが大事である。 ・税金を投入するなら、地域の人たちだけでなく、もう少し幅広い市民に利用されているというアピールが必要ではないか。現在は税金は投入されているが、利用実態は地域の自治会のためのものとなっており、中途半端な位置づけとなっている。柳津以外では、自治公民館は地域住民で管理運営している。もうはっきりさせる時期ではないか。 ・利用実態としては、自治公民館的であることから、自治公民館と同じ扱いとすることも含め、検討してはどうか。
--